

町民の声



最上北部商工会金山支部  
柿崎源太さん(内町・34才)

悪戦苦闘

商工会青年部は金山町を盛り上げ、活気溢れる町と成るように日々活動を続けています。

主な活動内容としては、「グリーン市」「産業祭りへの出店」「スノーフェスティバルでの雪合戦」等のイベント参加やイベント企画、「町内ゴミ拾い」等、様々なボランティア活動を展開しています。しかし商工業に従事する若者が減り、部員ひとり一人が多忙のため、活動するにも集まる人数が少なく、グリーン市では、約半数がWAGESTARTSと言うこともあり、出店するにも困難な状況です、



グリーン市

しかも年々集客は落ち込む一方です。そこで今年のグリーン市は7月11日に、めぐたま夏祭りと合同開催にして、より多くの集客を見込んで準備してきました。何より会場にたくさんの子供たちがいる事で、大変盛り上がりました。青年部の頑張る姿を、未来を担う子供たちに見せてやりたいと張り切っているところです。

議会豆知識 No.1

今回からシリーズで議会用語などについて掲載致します。

● 一般質問とは

一般質問は、年4回開催される定例議会で議員が町の行政全般にわたり、執行機関に事務執行の状況や、将来の方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めることなど政策論議であるため、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備が必要なおことから通告性となっております。最近、一般質問の重要性が高まり、質問の内容が単なる事務的な見解や、制度の内容を求めるもの、特定の地域の道路改修などを要望するものは一般質問としては適当でなく、大所高所から政策を建設的立場で、しかも簡明で内容のある次元の高い質問が求められています。当町議会の一般質問は一人一時間以内の割り当てとなっております。

編集後記

平成26年の金山町への「ふるさと寄付」が6450万円であった。財政の健全化指標は、年々改善されているものの、税収割合が少ない当町では、大変有り難いものである。

ふるさとに対し、貢献又は応援したいという納税者の思いを実現する観点から創設された「ふるさと納税制度」は、地域に対する関心や愛着を深め、交流人口拡大等のきっかけとして地域活性化や人口減少対策に資する効果も期待される。

また、制度的には居住地にも「ふるさと納税」をすることが可能である。「ふるさと納税」の意義の一つとして、税金の使われ方を考えるきっかけとなる制度で、納税の大切さを認識する貴重な機会でもある。

この機会に、「ふるさと寄付」を活用し、町政に参加してみたいかがでしょうか。(文責 中村 忠行)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

- 委員長 沼澤 道也
- 副委員長 中村 忠行
- 委員 高橋 芳夫
- 委員 高橋 浩樹
- 委員 早坂 憲明

9月議会定例会は9月8日(火)～14日(月)の予定です  
町民の皆様のお待ちしています

